



ある日突然訪れるリスクは“想定外”のままで良いのか？ 会社の明日を守る 「お金の危機管理マニュアル」

社長、経営幹部！ あなたが今すぐ出来ることはこれだ！

講師

株式会社トップ財務プロジェクト
岩佐会計事務所 代表取締役
税理士 中小企業診断士

岩佐 孝彦 氏（履歴裏面）

経営コンサルティングもできる
現場に強い税理士

日程 2011年12月7日(水)

午前10時より午後5時まで（昼食休憩 午後1時より午後2時まで）

会場 弊社ホール 大阪市北区中之島2-2-7
(中之島セントラルタワー17階)

対象 経営者・経営幹部・後継者・経営企画の方

年間ガイドよりタイトル・内容が変更になっています。

セミナープログラム

年間ガイド P.33

前編

午前10時より午後1時

心構え編

1 会社のお金に“想定外”は付きものか？

- 1) 会社はお金に始まり、お金で終わる
- 2) 優良企業は常に結果をお金で検証し、将来をお金で考えている
- 3) 昔の“想定外”を反面教師とする
 - ①震災の津波警報
 - ②原発問題
 - ③円高問題
- 4) 過去の大富豪も“お金の想定外の危機”に直面している
 - ①安田善次郎氏
 - ②本多静六氏
- 5) 会社経営は“想定外”という言葉で全て免罪にはならない！
- 6) 今こそ経営の大原則「最悪を想定し、最善を尽くす」に立ち戻るべし
～経営力とは危機察知能力

会社のお金編

1 エネルギーコスト肥大化に備える危機管理アクション

- 1) 見せて・ワクワクさせて・やらせて・評価して・分配する
- 2) 一点突破 ⇒ 全面展開
- 3) ローコストオペレーションの追求なきコスト削減は失敗する
- 4) 顧客満足度&社員のモチベーションを下げるコスト削減は本末転倒
- 5) エネルギーコストは本当にコントロール不能なのか？
- 6) 「節電」の機運はエネルギーコストを見直す絶好のチャンス
- 7) テナント家賃がローコストオペレーションの阻害要因か？

2 過剰人件費に備える危機管理アクション

- 1) 会社の利益向上が従業員の時給アップにつながる仕組みをつくらう！
- 2) 業務のマニュアル化&従業員の多能化をセットで推進せよ
- 3) 本当に良いマニュアルとは極限まで標準化できているレベルのもの
- 4) 間接部門ゼロ経営を目指しなさい！
- 5) 未払い残業代請求リスクは万全か？～従業員に会社を潰される？
- 6) 「人は会社の財産」だが、最後は人も債務になる！
- 7) 会社も社員も納得の時流にマッチした退職金制度をつくらう！

3 銀行借金苦に備える危機管理アクション

- 1) その借金は社長の覚悟を決めたカネなのか？
- 2) 新たに調達したお金を使い切る前に回収するサイクルがあるか？
- 3) 今の銀行借入金を“青・黄・赤”の3色に分類する
- 4) 会社の46%は借金でできている？
- 5) 月商の3ヶ月分を目安に借入残をシビアにチェックせよ！
- 6) 借入金で時間を稼ぎながら、稼いだお金を大事に使う流れをつくる！

後編

午後2時より午後5時

社長のお金編

1 社長の人生4大資金難に備える危機管理アクション

- 1) 社長業は世界一割に合わない商売なのか？
- 2) 社長のお金は会社を守る最後の砦
- 3) 同族の役員エントリー状況をチェックせよ！
- 4) 社長のライフプランとお金の取り方をマッチさせる
- 5) 会社からのお金の取り方に複数分散シナリオを持たせる
- 6) 事業の目標を見失い、欲望と見栄に負けるな！
- 7) 目先のお金を取りに行くと税制の思うつぼ？

2 事業承継問題に備える危機管理アクション

- 1) 社長退任しても銀行借入の代表者個人保証は自動的に外れない！
- 2) 生命保険を利用して会社を潰す要因を潰そう！
- 3) 無担保・無保証人交渉ができる決算書づくりをしよう！
- 4) 相続を中心とした「社長のお金の設計図」とは？
- 5) 自社株を巡る“争族”はどんな時に起こるのか？
- 6) 「80%納税猶予制度」は使い勝手が悪い？

3 オーナー一族の資産保全問題に備える危機管理アクション

- 1) 事業会社とは別に資産管理会社を持っているか？
- 2) 事業会社の社長を非同族にやらせても、創業家の権利を守る方法
- 3) 自社株の紙爆弾化を予防する「持ち株会社スキーム」とは？
- 4) 不動産管理会社を設立するなら、こんなシナリオをつくりなさい！
- 5) 愛する家族へのプレゼントは死亡保険金よりも死亡退職金の方が有利

(注)

参加者全員に講師より「社長のお金の危機管理マニュアル・21の行動チェックリスト」を講義終了時に配布します。

セミナーに関する詳しい内容・お申込みはこちらから

SMBCセミナー関西

検索

<http://www.smbc-consulting.co.jp/company/seminar/kansai/>



三井住友銀行グループ

SMBC コンサルティング

経営

階層別

総務

人事

経理

営業

生産・物流

岩佐先生からのメッセージ

社長はどんな経営環境下においても、会社と社員を守らなくてはなりません。急変した経済構造の歪みをもたらす荒波に備え、経営者として自社の財務体質をより強化するために何をすべきか。安易なコスト削減を実施すれば、社員の士気を下げ、業績にも悪影響を生じかねません。社長として正しい財務対策の順序と手の打ち方を押さえ、効果的なやり方を実行することが大切です。会社にお金を残す力を最大化させ、激動期でもビクともしない財務基盤をスピーディーに増強する方法を解説いたします。

講師の紹介

株式会社トップ財務プロジェクト
岩佐会計事務所 代表取締役
税理士 中小企業診断士

いよ さ たか ひこ
岩佐 孝彦氏

「社長と社長のもとに集う社員の夢の実現をサポートするために守るべきものは絶対に守る」と主唱する若手気鋭の財務コンサルタント。会社のお金を残す力を伸ばすことを主眼に、わかりやすく効果的なコンサルティングを展開する。大阪市立大学卒業後、マーケティング専門の経営コンサルティング会社を経て、管理会計・相続事業対策を得意とする会計事務所に勤務後、独立。

会社と社長個人のお金を残す財務戦略に従事し、経営者のライフプランに合わせた独自の指導法は定評を博す。

著書 『社長は「会社のお金」をこう残せ！』『社長と会社のお金を残す力“養成”講座』他多数。

◆受講料 (1名様につき)

	前編	後編
SMBC経営懇話会特別会員	12,600円 (ただし消費税800円を含む)	12,600円 (ただし消費税800円を含む)
SMBC経営懇話会会員	14,700円 (ただし消費税700円を含む)	14,700円 (ただし消費税700円を含む)
会員以外の方	16,800円 (ただし消費税800円を含む)	16,800円 (ただし消費税800円を含む)

※なお、テキスト・資料・昼食(前編・後編を連続受講される方のみ)は弊社で用意致します。

◆申込方法

- ①申込書をインターネットまたはFAXにてお送り下さい。
引きかえに受講証・会場地図・お支払いのご案内をお送りいたします。
- ②振込によるお支払いの場合は、開催日前日までに振込み下さい。
(振込手数料は貴社負担でお願いいたします。)
- ③開催日当日の取消の場合は、受講料を全額ご請求いたします。代理出席は受付いたしません。
- ④本会場においては、録音・録画・写真撮影は固くお断りいたします。
*最少施行人数に達しない場合は開催を取りやめる場合があります。あらかじめご了承下さい。

◆申込先・照会先 (受付時間 平日 9:00~17:00)

三井住友銀行グループ SMBCコンサルティング株式会社 関西教育事業部
〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー17階 TEL 0120-854380

◆会場ごあんない

弊社ホール

〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー17階
TEL 0120-854380



地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅7番出口より徒歩5分
京阪電車中之島線「大津橋」駅1番出口より徒歩3分
地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅1番又は4番出口より徒歩5分
※お車でのご来場はご遠慮下さい。

2011年度年間ガイド P. 33 に掲載
本年度の次回の開催予定 本年度の次回の開催予定なし。お見逃しなく!

お申し込みはFAXで (フリーダイヤル)
FAX 0120-854370

受講申込書

平成 年 月 日

会社の明日を守る「お金の危機管理マニュアル」 12/7				ご希望のコースに○をつけて下さい	前編	後編
				セミナーコード	K65106A	K65106B
ふりがな				TEL	会員番号(会員の方のみご記入下さい)	
貴社名 事業所名				FAX	連絡事項欄	
所在地	〒	お申込責任者	部署名	業種		
			ご芳名	従業員数(名)		
			メールアドレス	@		
ご芳名(ふりがな)		部課名	役職名	メールアドレス		
				@		
				@		
				@		

弊社は、経営に関する情報の提供やセミナー・講演会・研修の開催等弊社が営む全ての業務において、お客様の情報を、弊社の商品等の各種ご案内・ご提案、その他業務に関する申込みの受け付け運営上の管理、お客様とのお取引を適切かつ円滑に行うために利用いたします。詳しくは弊社ホームページ (<http://www.smbc-consulting.co.jp/company/privacy/>) に掲載しております。今後このような情報のご案内・ご提案が不要の場合は、大変お手数ですが、右記の□にチェックの上ご返信いただけますようお願い申し上げます。

- FAX案内の中止を希望します 削除希望のFAX番号: _____
- ダイレクトメール案内の中止を希望します 削除希望のご送付先: _____
- Eメール案内の中止を希望します 削除希望のEメールアドレス: _____